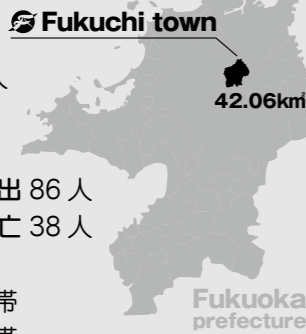


Population 人のうごき (福智町の人口)

●人口 23,337人
前月比-52人
前年比-361人
男性↑11,079人
女性↑12,258人
転入53人・転出86人
出生19人・死亡38人
●世帯 11,133世帯
前月比-30世帯
前年比-30世帯
※平成29年5月末現在(住民基本台帳人口)



お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長
— 弔電はひかえさせていただきます —

Tax おさめて安心 (税の納期限)

- 固定資産税 [2期] 7月31日 固
- 国民健康保険税 [1期] 7月31日 固

Event チクホー net (近隣の催し)

【田川市】「田川市市民プール」で元気に泳ごう!
7月8日 土 ~ 8月31日 日
(田川市市民プール)

ウォータースライダーやジャングルジム、流水プールなど楽しめる仕掛けが満載。小さい子供でも安心の幼児プール完備。
田川市市民プール ☎ 45-7654 (期間中)

【直方市】のおがた夏祭り 2017
7月30日 日 20:00~21:00
※雨天時 8月2日 日 または 10日 日 に延期
(直方リバーサイドパーク)

約6千発の花火とナイアガラが夜空を彩ります。長い伝統を誇る追山笠も同時開催。



↑打ち上げ場所と観客席の近さが魅力で、臨場感のある花火の競演が楽しめます。多数の露店も出店予定です。
直方商工会議所 ☎ 0949-22-5500

Medical health

保健の掲示板
7月16日から8月15日までの保健事業日程

- 7月19日 水 【3歳児健診】
3歳~3歳1か月児を対象(個人通知します)
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00~14:00
 - 8月2日 水 【3歳児健診】
3歳~3歳1か月児を対象(個人通知します)
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00~14:00
 - 8月8日 火 【よちよち相談】
乳幼児、身体計測や育児相談などの希望者を対象
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:45~15:30
 - 8月9日 水 【7~8か月児健診】
7~8か月児を対象(個人通知します)
[会場] コスモス保健センター [受付] 13:00~14:00
※ 金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターにお問い合わせください。
- ☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

Infection cautions

【マダニが主な感染源です。ご注意ください!】
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

ウイルスを保有するマダニに咬まれることが主な感染源で、発熱や吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、下血などの症状があり最悪の場合は死に至ることもあります。
ワクチンはなく、予防するには咬まれないようにするしかありません。4~10月はマダニの活動が盛んなので、草むらや藪などに入る場合は十分に注意しましょう。

- ▶草むらや藪に行くときは
長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出部分を少なくしましょう。
- ▶マダニに咬まれたら...?
咬まれても痛みやかゆみは感じません。吸血中のマダニに気付いても、無理に引き抜こうとするとカラダの一部が皮膚内に残ってしまうことがあります。病院を受診して処置してもらいましょう。



↑帽子や軍手を着用したり、タオルを首に巻くことで皮膚との隙間を無くすることが効果的です。

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

熱中症にご注意

室内でも多く発生しています。夜も注意が必要です

熱中症は、気温などの環境条件だけでなく、体調や暑さに対する慣れなどが影響します。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていないときは注意が必要です。

急な運動や作業に注意

人間の体は、暑い環境での運動や作業を始めてから3~4日経たないと、体温調節が上手になってきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で活動した時には、体温調節が上手くいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。熱中症になった時には、応急処置をすることで症状の悪化を防ぐことができます。

熱中症かな?と思ったら...

- ▶すぐに医療機関へ相談、受診しましょう。
- ▶涼しい場所へ移動しましょう。
- ▶衣服をゆるめ、体を冷やして体温を下げましょう。
- ▶水分と塩分を同時に補給できる、スポーツドリンクなどを飲みましょう。おう吐の症状が出ていたり、意識がない人には、誤って気道に入る危険があるので無理に水分を飲ませるのはやめましょう。



予防方法をチェック

- こまめに水分補給。寝る前だからと我慢をせずに。
- 部屋の温度を測り、暑さを感じなくてもエアコンをつけるなど常に注意する。エアコンや扇風機が苦手な人は、温度設定に気を付けたり、風向きを調整するなど工夫して、部屋の風通しをよくしましょう。
- 汗をかいたときは、適度な塩分補給。
- シャワーやタオルで体を冷やす。
- 暑いときは無理をしない。
- 涼しい服装で、外出時には日傘・帽子を忘れずに。
- 暑さ指数を活用。

暑さ指数(WBGT)とは熱中症を予防するための指数で、気温と同じ単位(°C)で表されますが、気温とは異なります。暑さ指数は人体と外気の熱のやり取りに着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・ふく射など周辺の熱環境、③気温を取り入れた指標です。

暑さ指数は環境省の熱中症予防情報サイトで確認できます。

熱中症予防情報 検索

| 暑さ指数 (WBGT) | 暑さ指数ごとの対策と注意事項 |
|------------------|--|
| 31℃以上 危険 | 運動は原則禁止 高齢者は安静にしているでも発生の危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。 |
| 31℃未満 28℃以上 厳重警戒 | 激しい運動は中止 炎天下を避け、室内では気温の上昇に注意する。指数が28℃を超えると熱中症患者が増えます。 |
| 28℃未満 25℃以上 警戒 | 積極的に休憩 運動や激しい作業をするときは定期的に休息する。 |
| 25℃未満 21℃以上 注意 | 積極的に水分補給 危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。 |
| 21℃未満 | 適宜水分補給 |